

## 低気圧通過に伴う強風等に備える営農技術対策

平成30年5月17日  
北海道農政部

### 強風および大雨に関する注意項目

- 1 最新の天候情報に注意して、早めの準備を行う。
- 2 ビニールハウスの緩み・たるみは風が強くなる前に締める。
- 3 風雨が強くなってからは、ハウスに近づかない。

北海道地方では、18日から20日にかけて、発達する低気圧の影響で、道南地方を中心に、強風や大雨が見込まれております。土砂災害、河川の増水に警戒してください。

また、19日から20日にかけて気温が低くなることが見込まれており、オホーツク海側や太平洋側の峠や山間部では、みぞれや雪が降り、積雪状態となる恐れがあります。

風雨が強くなってからはハウス等には近づかず、安全の確保に努めてください。随時発表される気象情報に十分注意し、次の事項の徹底に努めてください。

札幌管区气象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

#### 第1 ビニールハウス等農業施設の強風対策

- 1 ビニールやハウスバンド等施設各部の損傷・ゆるみなどを点検し、必要に応じて補修する。
- 2 ハウスバンドを固定するアンカー杭が浮き上がっていないか確かめ、修正しておく。
- 3 バンドレスの場合は、フィルムを均等に緊張することが難しく、強風でフィルムがバタつく  
と破れやすくなるので、妻側端部及び適当な中間部に防風ネットを張り、バタつかないように  
する。
- 4 ハウスの筋かいは、緩んでいるところだけを締め付けると周囲の筋かいは緩むので、ハウス  
全体の筋かいは均等に締め付けられるように調節する。また、ハウス中央部に支柱を設置し、  
暴風雨に対するハウス強度を高める。
- 5 ハウスの出入り口、天窓、側窓、換気扇及び側面のフィルム巻上げ部などの開口部が、きち  
んと締まるかチェックしておく。
- 6 被覆資材が破れ、風がハウス内に吹き込むとハウス内の圧力が大きくなり、ハウス全体が大  
きな被害を受ける。また、飛来物によるハウスの破損がないよう、ハウス周辺の飛散しやすい  
ものを片付けておく。
- 7 既設の防風網は点検整備を十分に行い、突風がおきやすい場所には応急的に防風網の設置を  
行う。

## 第2 大雨対策

- 1 施設周辺に排水溝を掘り、ビニールハウス周辺の排水溝は、ハウスのすき床面より低く掘り下げ、ボイラーや移動できる機械類は可能な限り高所に移す。また、土のうを積むなどにより施設への浸水を防ぐ。
- 2 低地や排水不良地など滞水が心配される畑地では、明渠や排水溝へ排水できるよう溝を掘っておく。

## 第3 畜産

### 1 停電への対応

停電により搾乳及びバルククーラの冷却ができない等、作業に支障がある場合は次のことに留意する。

- (1) 前回搾乳から16時間位までの搾乳中止は、乳量や乳質に特に問題は生じない。
- (2) 発電機が手配できる場合は、それらを利用して搾乳・冷却をおこなう。
- (3) 発電機は必要電力に対し十分に余裕を持った機材を用いる。
- (4) 停電中、バルククーラに冷却中の生乳は速やかに集乳するよう体制を整える。  
また、通電後は十分攪拌した上で、細菌数検査を実施し出荷する。
- (5) 手搾りが可能な酪農家は、泌乳前期牛の搾乳を優先する。
- (6) その他、停電で使用不能となる設備の確認をする（例えば、水槽揚水ポンプ、サイロのアンローダー、電気牧柵、自動給餌機、電気温水器、照明器具、自動哺乳装置）。